

「落雷事故を踏まえた今後の再発防止対策等について（中間報告書）  
（案）」に関する全体的なコメント

2014年6月25日 横山 茂

原因について、必要な調査がなされており、対策もわかりやすく表現されていると思います。

以下コメントです。

- 1) 雷接近時と雷雲接近時の違い
- 2) 落雷後でなくて雷雲接近時に止めるのは、どの程度停止時間（アベイラビリティの低下）になるかを検討すべきか？
- 3) 落雷の有無については、測定方式と基準値（ある設置状態で？アンペア）を設定した方がよい。→実験的検討。冬季雷地域では義務づけるべきか。
- 4) レセプタでの完全雷捕捉は通常は困難。ある程度の失敗は容認すべき。
- 5) 事故報告の共有は、是非実施してほしい。それが無いことが、被害の解明や適切な対策の立案がなかなか進まなかった大きな原因の一つ。
- 6) 落雷位置標定システムの電流値から電流波形の推定や電荷量の推定を行うことは一般的には難しい。

以上